



成果指標				
成果指標	誤検針と判明した件数÷検針委託総件数＝誤検針率			
指標設定の考え方	適正な水道料金を算定するため、正確な検針業務に努める。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	0	0	0
実績	0.01	0.01	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	ハンディ端末機による検針業務を迅速に実施することで、業務の効率化や水道使用者に対し、正確かつ的確に使水量・料金の通知が行われている。今後は更に精度の高い検針業務を実施するため、水道検針員と情報交換並びに事務連絡を緊密にするとともに、検針時における注意事項の徹底を図る必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	ハンディ端末機による検針業務を迅速に実施することで、業務の効率化や水道使用者に対し、正確かつ的確に使水量・料金の通知が行われているが、市民のニーズは、年々多様化しており、今後は更に精度の高い検針業務を実施するため、検針日の固定化など検針時における注意事項の徹底を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	